

## 平成28年度 第1回大井町都市計画審議会 概要

日 時：平成28年7月27日（水）  
午後3時30分～午後4時30分  
場 所：大井町役場301会議室

出席者：植松清治会長、高橋美恵子委員、菅谷学委員、中村義夫委員、清水豊司委員、鈴木武夫委員、佐々木琢磨氏（鎌田耕造委員代理）、加藤邦裕氏（市川喜久男委員代理）

欠席者：君塚喜一委員、香川享子委員

事務局：二見克彦参事兼都市整備課長、小島隆一都市計画担当参事、山崎好之都市整備課主幹、立川悟都市整備課主査、川野治企画財政課長、小池正彦生活環境課主幹

### 1 開 会

間宮町長よりあいさつ

植松会長よりあいさつ

### 2 交代委員紹介

新たに就任した市川委員について事務局から紹介

### 3 議 題

#### (1) 大井都市計画の決定・変更について（諮問）

間宮町長から植松会長に大井都市計画の決定・変更に係る2件について諮問

- ・審議会及び推進委員会の運営にあたり、資料及び議事概要を公開することについて了承された。ただし、活発な議論を行うため、議事概要の発言者氏名は伏せることについて確認された。
- ・事務局から大井都市計画の決定・変更の概要及び5月に実施した公告・縦覧結果について説明。（資料1、2、3、4）

#### 【意見・質疑】

- 資料3の2（1）にある人口の推計、産業の規模のうち、大井町分の内訳はどのようになっているか。  
⇒ 都市計画区域内の人口については、平成22年が1万8千人、平成37年が1万6

千5百人となっている。市街化区域内については、平成22年が1万4千人、平成37年が1万3千人となっている。産業規模の内訳は手元に資料がないため、改めて回答する。

《参考（大井町分）》

工業出荷額：平成22年	約125億円	⇒	平成37年	約131億円
卸小売販売額：平成22年	約369億円	⇒	平成37年	約377億円
第一次産業：平成22年	0.3千人	⇒	平成37年	0.3千人
第二次産業：平成22年	2.5千人	⇒	平成37年	2.1千人
第三次産業：平成22年	5.8千人	⇒	平成37年	6.1千人

- 近年、町内で開発された分譲地をよく見かける。区画整理事業も始まるにも関わらず、人口が減少していつてしまうものなのか。  
⇒ 今回お示しした人口の推計は県が主導的に推計したもの。昨年度、町で人口ビジョンを策定したが、そちらは、人口減少を抑制するために様々な政策を実施した場合を想定してシミュレーションをしたので、若干の乖離はあるが、いずれにしても人口減少は免れない。
- 今回のこの人口推計をもとに都市計画が決定されてしまう。つまり、県に人口を抑え込まれてしまう。2市8町は人口減少が続いているので、そうならないように県に積極的に申し入れていくべきではないか。  
⇒ 神奈川県全体が将来的に人口減少を迎える中で、今回の人口推計は県全体をまず推計してから各地域に配分して整合を取っている。町としても県に積極的に話をしているが、この数値以上の人口となるようめざしていきたいと考えている。
- 県の施策でもある未病いやしの里センターが町内にできることから、交換条件ではないが、人口増となる施策も県に要望していつてもらいたい。
- それでは、他に意見もないようなので、本委員会に諮問された2件について、附帯意見なしとして答申としてよろしいか。
- 異議なし。（委員一同）

(2) 大井中央土地区画整理事業について（報告）

- ・事務局から次回の都市計画審議会に諮問予定の大井中央土地区画整理事業に係る都市計画の概要を説明。（資料7）

【意見・質疑】

- 現在の第一種低層住居専用地域では区画整理地内は売れていかないのではないかと。具

体的にどんな用途に変更を考えているのか。また、簡単に変更できるものなのか。

⇒ 第一種中高層住居専用地域をメインに役場前の町道14号沿いについては、より緩やかな用途地域を設定していきたいと考えている。この用途地域の変更については、後ほどご説明するが、今年度末の2月頃に決定していきたいと考えている。

○ 区画整理事業には保留地が設定されているが、具体的な場所はどこか。

⇒ これから事業の内容についても修正があると聞いている。保留地の場所については、地権者にも示されていないのでこの場では控えさせていただきたい。

(3) 未病いやしの里センター（仮称）について（報告）

・事務局から次回の都市計画審議会に諮問予定の未病いやしの里センター（仮称）に係る都市計画の概要及び今後の都市計画スケジュールを説明。（資料8、9）

#### 【意見・質疑】

○ いつ頃にセンター全てが完成するのか。

⇒ 資料8の3ページに記載のとおり、第0期から第3期まで段階的な整備が予定されている。第0期はすぐにでもとりかかるとのことのできる箇所、第1期は平成29年度末、第2期は平成32年度、第3期は平成33年度以降の整備が予定されている。

○ いやしの里センターには何人くらいの来場が見込まれているのか。

⇒ 基本計画（案）では、100万人の来場を見込んでいる。

○ 施設整備には多額の費用も見込まれるが、最後まで事業が完成するのか少し気がかりである。

⇒ 事業者自らできる施設は直営で、その他の施設については外部から専門事業者を呼んで、任せるなどすると聞いている。スパの整備が計画されているが、既にそのための調査も始まっている。全ての事業が進んでいくものと期待している。

(4) その他

・事務局において議事概要を作成し、委員の確認後、公表することを確認した。  
・次回の会議については年度末を目途に、再度開催することを確認した。

以 上